

情報通信人材研修

(1)	コース番号	M001	
(2)	コース名称	プロジェクト管理の勘所	
(3)	受講料	会員：25,000円（一般：35,000円）	
(4)	達成目標 または育成目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>プロジェクト管理の目的・寄与するところを再確認します。</li> <li>プロジェクト運営で発生しうる問題事例をベースに、対処方法・事前予防策をディスカッションすることで、一般的なプロジェクト管理手法だけではカバーできない実践に活かせる視点・考え方を学びます。</li> </ul>	
(5)	前提知識 または受講対象者	システム導入プロジェクト経験 5～10 年程度の方 チーム管理、プロジェクト管理の実務を経験されている方	
(6)	日程(日数)	令和 5 年 10 月 20 日(金)	1 日間
(7)	時間(時間数)	10:00 ～ 17:30	6.5 時間
(8)	会場	対面形式(船橋情報ビジネス専門学校)	
(9)	定員	20 名 (最少催行人員 6 名)	
(10)	講師	氏名	秋葉 陽子
		所属	株式会社ムーヴフォワード 代表取締役
		略歴	独立系 IT コンサルティング会社にて IT サービスプロバイダーとしてプロジェクトを経験後、事業会社の IT 子会社にて、ユーザー企業に近い立場にて、プロジェクト企画～開発～保守までの工程をプロジェクトマネージャー補佐として経験。現在、プロジェクトマネジメントに特化したコンサルティング会社にて、様々な業種・業界・プロジェクトを対象にプロジェクトマネージャー、PMO 業務に従事。
(11)	内容	第 1 日目 (午前)	<p>0. オープニング:研修の目的と進め方について</p> <p>1. 講義:いまさら聞けない!プロジェクト管理の目的と範囲</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>プロジェクトを構成する要素とは</li> <li>プロジェクト管理の意義</li> </ul> <p>2. 個人ワーク:よくある事象と問題点の考察</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>個々人の経験上で直面した事象と管理上の問題点の考察</li> </ul> <p>3. 講義:整理してみよう!プロジェクト管理のポイント</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>工程別、ステークホルダー別にみるチェックポイント</li> </ul>
		第 1 日目 (午後)	<p>4. グループワーク:事例に基づくディスカッション①</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>あるプロジェクトの計画を参照し、どのような点に注意してプロジェクト管理をしていくべきかディスカッション</li> </ul> <p>5. グループワーク:事例に基づくディスカッション②</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ある問題事象が発生したプロジェクトの状況を参照し、PMとしてどのような対処を行うかディスカッション</li> </ul> <p>6. 講義:結局どうすれば?プロジェクト管理エリアとその役割</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>一般的なプロジェクト管理エリアとその役割</li> <li>実務上必要となる視点とスキル</li> </ul> <p>7. プロジェクト管理ツールと手法の紹介</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>プロジェクト管理ツールの有効性と落とし穴</li> </ul> <p>8. 振り返り</p>
(12)	その他(使用機材等)	リモート講座受講用パソコン(Zoom)	